

つなぐれ和泉っ子

～人と社会と未来の自分～

和泉



5月号

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/izu>

目標達成は試行錯誤の先に

校長 荒海 透

早くも初夏を感じるような日が続くようになりました。校庭では元気いっぱい遊ぶ子どもたちの姿が毎日のように見られます。このように気持ちのよい気候が続いてほしいものですが、先日気象庁が最高気温が40度以上の日は「酷暑日」と呼ぶことを決めた、というニュースがありました。近年の気温上昇は誰もが実感するところではありますが、このように名前が付けられると、改めて40度以上になるような日が珍しくなくなっていくのかと思います。4月下旬に早くも運動会を実施する学校もあるようです。今年も暑さとうまく付き合いながらの教育活動が続きそうです。

さて、新年度がスタートして一か月が経とうとしています。新しい環境での生活も落ち着きを見せてくる頃です。そして、ここまでの学年や学級の様子を踏まえ、今年度の目標づくりが始まっています。目標達成に向けて取り組むこれからの日々は、山登りにたとえられることがしばしばあります。目指すところは同じでも、アプローチの仕方は様々だということです。ゴールに向けてひたすら突き進む子、休み休みのんびり向かう子、あちこち見ながら遠回りして行く子・・・その過程は十人十色です。それは時にお互いのやり方を認めることができず、ぶつかり合う原因になることもあるでしょう。歩みを止めたり後退させたりすることもあるかもしれません。しかし、そのような体験なしでは多様性や変化を受け止めることはできないと思います。一本道ではない過程を経験して目標達成という頂上にたどり着いた子どもたちは、一本道をみんなで並んで歩いてきた子どもたちよりもきっと多くのことを学び、たくましく成長するものだと考えます。

少し話はそれますが、中東情勢の悪化でホルムズ海峡の混乱が続いています。その影響で今月末までに石油の国家備蓄70日分が市場へ放出されるようです。この状況を受けてホルムズ海峡を通らない様々なルートからの石油調達に活路を見いだそうとしています。それが持続可能なエネルギー政策といえます。学年・学級経営も目標達成のルートを複線化し、子どもたちにとってより安心安全、充実したものにしていきたいと思っています。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆ ご協力をお願いします ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

報道等で皆さんご存じかと思いますが、京都では小学生が犠牲となる痛ましい事件がありました。この事件では、登校後の出席確認について課題が指摘されました。和泉小では「すぐーる」や電話での欠席連絡がなく、登校が確認できない場合には、授業開始前に保護者の方に電話連絡をするようにしています。朝のお忙しい時間かと思いますが、お子様の安全確認のため、今後ご協力のほど、よろしくお願いいたします。なお、**遅刻して登校した際には、保護者の方が教室まで付き添い、担任に確実に引き渡しいただきますよう、重ねて申し上げます。**